

## 10月定例教育委員会 会議録

- 1 開催日 平成30年10月5日（金）
- 2 開催場所 新館8階 教育委員室
- 3 出席した委員 田淵教育長、吉田委員、森委員、坂元委員、廣岡委員
- 4 出席した職員 高井教育総務部長、大西教育指導部長、  
吉田教育総務部次長、平田教育指導部次長、  
山本教育指導部学校教育担当参事、  
岸田学務課長、福島社会教育・スポーツ振興課長、  
神吉学校教育課長、今津青少年育成課長、  
加藤教育研究所長、山野教育総務課副課長、  
藤崎教育総務課管理調整係長
- 5 傍聴者 4人
- 6 議事の要旨
  - 開会 午後4時00分
  - 会議録署名委員指名のこと  
坂元委員に決定
  - 9月定例教育委員会及び臨時教育委員会の会議録報告承認のこと  
（事務局から会議録朗読報告）  
承認
  - 会議公開の可否決定のこと  
全ての議事を公開することに決定

(専決報告)

1 加古川市少年愛護センター運営協議会委員の解嘱及び委嘱について  
(教育指導部参事から説明)

承 認

委 員 : 解嘱及び委嘱する者がどちらも東播サポートセンターとなっているが、人事異動に伴うものか、又は解嘱となった委員の退職に伴うものか、どちらか教えてもらいたい。

事 務 局 : 警察の人事異動に伴い、本センターの所長が交代したためである。

○ 次期定例教育委員会予定日のこと

11月15日(木)午後1時30分から開催することに決定

○ 教育長諸報告

(1) 地区別行政懇談会について

「市民と行政との協働によるまちづくり ～新たなチャレンジ 一人ひとりが幸せを感じられるまちを目指して～」をテーマに、9月から11月にかけて市内10地区の地域住民と意見交換を行っている。

(2) 平成30年度視聴覚教育・情報教育功労者文部科学大臣表彰の受賞について

9月14日(金)に、平成30年度視聴覚教育・情報教育功労者文部科学大臣表彰の表彰式が開催され、元八幡小学校長の古賀一信氏が受賞したことを報告する。

○ 教育委員諸報告

(1) コミュニティ・スクールの進捗状況について

委 員 : 前回の定例教育委員会において、10月のコミュニティ・スクールの導入に向けた調整を進めているということであったが、現在の進捗状況を教えてもらいたい。

事 務 局 : 加古川市学校運営協議会規則の10月1日の施行にあわせて、加古川市学校運営協議会の設置及び運営に関する要綱を制定した。現在、1校における設置に向けて大詰めの段階を迎えているが、委員の委嘱までには至っていない。

○ 教育総務部長諸報告

(1) 平成 31 年度加古川市立幼稚園・認定こども園の園児募集について

10 月 9 日（火）から平成 31 年 4 月入園の幼稚園・認定こども園児の募集が始まる。

(2) (仮称) 日岡山学校給食センター整備及び運営事業の落札者について

(仮称) 日岡山学校給食センター整備及び運営事業について、落札者が決定したので報告する。

以上、2 件について報告

○ 教育指導部長諸報告

(1) 第 6 回加古川スポーツカーニバルについて

11 月 3 日（土）に、市立総合体育館を会場として、第 6 回加古川スポーツカーニバルを開催する。

(2) 第 3 回社会教育委員会議の開催報告について

9 月 21 日（金）に、第 3 回「社会教育委員会議」を開催した。

(3) 平成 30 年度 地域に学ぶ「トライやる・ウィーク」(後期) の実施について

後期の地域に学ぶ「トライやる・ウィーク」が、11 月 5 日（月）から 9 日（金）に実施される。

(4) 東播地区中学校新人体育大会について

10 月 20 日（土）、21 日（日）を中心に、東播地区各市において、東播地区中学校新人体育大会が開催される。

(5) 「第 6 回科学の甲子園ジュニア全国大会」出場激励会の開催について

平岡中学校の生徒が、「数学・理科甲子園ジュニア 2018」において優勝し、「第 6 回科学の甲子園ジュニア全国大会」に出場する。また、激励会を 10 月 22 日（月）に開催する。

委 員 : 「数学・理科甲子園ジュニア 2018」は自由参加なのか。また、参加校について教えてもらいたい。

事 務 局 : 自由参加である。参加校については昨年度 4 校であったが、今年度 1 校であった。

委 員 : 教育委員会事務局から各学校に参加するよう働きかけは行っているのか。

事務局：以前は予選を行い参加校を決定していたが、定着してきたため自由参加に変更した経緯がある。1年目は多かったが、昨年度から少なくなってきた。

委員：指導する教師の存在も大きいと思うが、参加校が増えるよう働きかけてもらいたい。

委員：他校の生徒にもやりがいや達成感を感じてもらいたい。

(6) 平成30年度 ふれあいハッピーフェスタについて

11月23日(金)に、「平成30年度 ふれあいハッピーフェスタ」を実施する。

(7) 第2回加古川市いじめ防止対策評価検証委員会の開催報告について

9月18日(火)に、加古川市役所新館10階大会議室において、第2回加古川市いじめ防止対策評価検証委員会を開催した。

委員：資料6『学校生活に関するアンケート(アセス)』結果と学校の取組について、実施率は100パーセントだと認識していたが、長期欠席者には別途面談等を実施しているのか。

事務局：そのとおりである。

委員：今後は長期欠席者の面談を実施していることや、実施率に含まれていないことを注記するなど、表記上の工夫をしてもらいたい。

委員：アセスの実施率100パーセントを目指すなら、面談もアセスに基づいて実施すべきだと思うが、具体的にどのように実施しているのか。

事務局：面談はアセスに基づき実施している。しかし、学校がどれだけ調整しても会えないケースもあるのが現状であり、引き続き実施率100パーセントを目指して努力していきたい。

委員：委員長コメントでは、教育委員会事務局及び各学校の前向きな取組について高く評価されていると感じる。いじめ防止対策評価検証委員会における会議の雰囲気も教えてもらいたい。

事務局：教育委員会の取組内容について批判的に見ることを基本的なスタンスとしながらも、今後につながる建設的な意見や提言をいただいている。1学期の評価結果を踏まえ2学期から全てを改善するのではなく、直ちに改善できることには取り組みながら、1年間の評価結果を次年度以降につなげていくことでPDCAサイクルを回していきたいと考えている。

委員：資料3「自己点検シートまとめ」のうち、「命や人権を尊重する豊かな心を育むことができたか」という質問に対し、「おおむねできた」と回答した学校が最も多く、「やや課題がある」「課題がある」もある。全ての学校が「できた」と回答できるような強い意識で取り組んでいくことが重要である。

事務局：本設問の下には2学期以降の取組も含めた内容が記載されており、今後の活動予定も含めて学校は回答しているため、このような結果になったと分析している。このため、最終的には1年間の実績に対する回答に対して評価すべきものと考えている。

教育長：今回が初めての評価であり、どのような資料で委員に評価検証してもらうか事務局で試行錯誤しながら進めてきた。本日いただいた意見を今後に活かしていきたい。

(8)「平成30年度 加古川市教職員研修会アンケート集計結果」の報告について

8月22日(水)に、平成30年度 加古川市教職員研修会を開催した。欠席者には、当日のビデオにより28日(火)に研修会を行った。アンケートの集計結果について報告する。

委員：出席率をより高めるため、県の初任者研修と日程が重ならないような調整はできないのか。

事務局：県初任者研修は県内の全市町が参加するため、講師の確保もあり、市の研修と確実に重ならないよう調整するのは困難である。

委員：何とか全員が出席できるように努めてもらいたい。今回、幼稚園及び認定こども園と小・中・養護学校の日程を分けることで出席率の向上につながったことや、それぞれのテーマに合った講演会を実施したことは高く評価できる。今後も全員が参加しやすいことを優先に考え、研修のテーマも含め分離型とする方がいいのではないかと思うが、事務局として合同で開催することによるメリットはどのように考えているのか。

事務局：諸報告等の内容が同じため、同日合同開催とすることで、効率的に1回で実施できるという面もある。また、資料には記載していないが、意見の中には全教員が1年に1回集まる貴重な機会であり、合同開催が望ましいというものも多いため、今後は研修のテーマに応じた開催方法を検討していきたい。

委員：出席率を評価指標とする場合は、別の研修で出席できなかった場合は出席率算定の人数に含めないといった考え方もできると思う。

事務局：出席率の考え方については、ご意見を踏まえ検討したい。

以上、8件について報告

○ 閉会 午後5時00分